

平成 20 年 3 月 27 日

## 県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が堅調なもの、生産活動が一進一退で、個人消費も盛り上がりを欠くなど、全体では停滞感を強めている。

生産活動は、電子部品関連の一部が弱含んでおり、飲食料品も伸び悩んでいる。個人消費関連は、新車販売が前年並みの水準に回復したものの、百貨店売上げやスーパー売上げは盛り上がりを欠く。投資関連では、住宅着工が前年を上回ったものの、公共工事は低調。その間、観光入り込み客数は前年を上回った。

### 【生産活動】 ... 一進一退

**電子部品**関連は、IC 生産が回復している。一方、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）やカラーLCD（液晶ディスプレイ）は競争激化により伸び悩んでいる。

2月の**生コン**生産は、12か月連続で前年を下回った。

2月の**紙パルプ**生産は、前年比 1.1% 増となった。

**木材**関係は、住宅建設向け需要が弱く、低調に推移している。

**大島紬**生産は、減反基調にある。

**焼酎**は、生産および出荷の増勢テンポこそ鈍化しているものの、引続き高水準で推移している。

**かつお節**生産は、原料かつおの水揚げが好調なことから、増加基調にある。

### 【畜産関連】 ... 堅調

肉用牛（和牛）の枝肉相場は横ばいで推移する一方、子牛価格は弱含みながら高値圏で推移。豚肉及びブロイラー相場は、需要増から堅調に推移している。また、鶏卵相場は回復した。

### 【消費関連】 ... 盛り上がりを欠く

1月の百貨店売上げは、衣料品、食料品ともに動きが鈍く、前年比8.5%減と5か月連続で前年を下回った。1月のスーパー売上げは、0.6%増と前年並みにとどまった。2月の大型小売店販売は、前年を下回った。

2月の乗用車新車販売台数は、3.1%増と前年を上回った。車種別にみると、小型車が4.6%減と前年を下回ったものの、普通車は18.7%増と前年を上回った。一方、軽自動車は4.0%減と5か月連続の前年割れとなった。

### 【観光関連】 ... 堅調

2月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比7.4%増と前年を上回った。地区別にみても、全ての地区で前年を上回った。一方、種子島・屋久島地区は僅かながら前年を下回った。この間の主要観光施設入場者数は、前年を上回る施設が多く、引続き堅調に推移した。

### 【投資関連】 ... 総じて低調

2月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

1月の民間建築工事は、棟数は前年を下回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を上回った。

1月の新設住宅着工戸数は、前年比17.5%増となり、7か月ぶりに前年を上回った。利用関係別では、持家、分譲がそれぞれ18.6%減、45.6%減となったものの、貸家が76.0%増となった。

2月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、前年比6.2%減となった。

#### 【貿易関連】...輸出が増加に転じる

1月の**輸出額**は、半導体等電子部品が前年を下回ったものの、液晶表示板等の科学光学機器やタイヤ・チューブが前年を上回ったことから、全体では6.6%増と8か月ぶりに前年を上回った。**輸入**は穀物及び同調整品が前年を下回ったものの、原油及び粗油が前年を上回ったことから、38.5%増と4か月連続で前年を上回った。

#### 【雇用情勢】...足踏み

1月の有効求人倍率は、前月と同じ0.58倍となり、雇用情勢は足踏みしている。

#### 【金融情勢】...堅調

**資金需要**は、企業の設備資金、運転資金ともに堅調に推移している。

#### 【企業倒産】...負債額が前年を下回る

2月の**企業倒産**は、件数は10件と前年同月(10件)と同件数ながら、負債額は17億8,000万円と前年同月(51億1,000万円)を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿児島地域経済研究所 ( 099-225-7491 )